

改善計画シート

法人名 社会福祉法人 至誠会

事業所名称 児童養護施設 あけぼの学園

作成年月日 令和 6 年3月 15 日

項目	現状	目標(取り組み目標)		計画内容		
		短期	中・長期	管理者が取り組むこと	職員が取り組むこと	全体で取り組むこと
1-4-(1)-① 「養育支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ機能している。」	・自己評価は集計結果にとどまっておらず、評価結果を基に改善策、改善計画を策定する体制作りを行っていない。	・自己評価結果の課題を文章化し、職員参画のもと改善策や改善計画を策定する体制作りを施設内に位置付ける。	・位置付けた体制を機能化させ、効果的な改善やよりよい改善計画を日々の養育に反映していく。	・9月と3月に実施していた自己評価と集計を次年度から、6月と12月に実施し、結果を反映した改善計画を次年度の事業計画書に記載する。	・評価だけにとどまらず、優れている部分は現状維持⇒スキルアップへ。劣る部分はレベルアップするよう意識していく。	・チームとして取り組むべきことを整理し、子どもたちの生活向上のために改善。 ・個々の意識向上による全体のスキルアップ。
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	・小規模化によりプライバシーが守られた生活を送っている。 ・生活場面におけるプライバシーに配慮した取り組みを具体的に明記する必要がある。	・プライバシー保護に関するマニュアル等を整備する。 ・マニュアルを簡潔にまとめたワンペーパーの作成。	・プライバシー保護に関するマニュアル等に沿った支援が行われているか検討する体制作り。	・ハード面においてプライバシー保護に関する部分を点検し、プライバシーの保護に関するマニュアルなどを整備する。	・職員が自らプライバシーを損なわないよう、マニュアルを簡潔にまとめたワンペーパーを意識しながら支援する。	・ワンペーパーに記載された内容について、改善すべき点やうまくいっている点を出し合う。
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	・BCPの作成	・BCPに基づいた定期的な訓練実施。	・BCPの訓練を継続し、対策の見直しを図る。	・BCPのアップデート ・BCPからBCMへ ・必要な防災用品等の充実 ・防災関係の研修	・防災用品の見直しと拡充、補充等の確認。 ・平素からの地域や関係機関との連携。	・他地域での災害対応について、同様の事が発生した場合に施設としてどのように対応すべきか、できるか話し合う。
A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	・職員が権利擁護について研修を受けているが、子どもへの学習機会は十分ではない。	・子どもへ権利擁護について学習機会を設ける。	・職員がCAPの研修など受講して、子どもたちに反映させていく。	・研修費予算の拡大により、より多くの職員が受講できるようにする。	・様々な子ども同士の問題解決の際、お互いに権利があるということを支援出来るよう知識を修得していく。	・子どもたちの間で生じる問題の解決に際し、CAP研修等で修得した知識を指導に役立てる。 ・職員間で対応にズレがないか確認しあう。
A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	・研修など行っているが、子どもへの対応に差が出ないようにするために取り組みは十分ではない。	・新任職員や人事異動してきた職員に対しての研修の体系化。 ・事案を下に職員によるロールプレイを活用していく。	・職員間における対応や関わりの差が出ないようにするため、研修やロールプレイなど実践に役立つ経験を積み重ねていく。	・児童に対する援助活動に欠かせない児童学や、子どもの心理発達を扱う児童心理学などを学べる機会を設定する。	・ロールプレイ等の実践による対応困難児童に対するスキルアップ。 ・先輩職員やリーダー等から新任職員等へのサポート。	・チームで関わる部分と個別に関わる部分に職員間で差異が生じないようにする。 できるだけ複数対応。
その他 新築移転前は月間福祉の定期購読をしていたが、6年前の移転後から停止。	全養通信以外からの情報手段として、福祉関係の情報を得る新聞雑誌等の購読を検討する。	令和 6 年より福祉新聞の定期購読。	今後も必要に応じた福祉関係情報を得るため、新聞や雑誌を購読する。	関連する情報を得る。	情報を得て福祉視野の拡大。	新たな制度や改定等に対して、施設全体としての取り組みを検討し、対応していく。